

所有答案均写在考点下发的答题纸上，写在本试卷上无效。

上海外国语大学
2005 年度攻读硕士学位研究生考试考卷
日语语言文学专业
综合试题
(总分 150 分 3 小时内完成)

一、下線部の漢字の読み方を () に書きなさい。(1 × 10 = 10)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 生活を <u>営</u> む () | 2. 微笑みが <u>零</u> れる () |
| 3. <u>憩</u> いの場所 () | 4. <u>胡</u> 座をかく () |
| 5. <u>会</u> 釈をする () | 6. 怪しい態度 () |
| 7. <u>肝</u> 心なこと () | 8. 心が <u>和</u> む () |
| 9. <u>専</u> ら研究に打ち込む () | 10. <u>芝</u> 唇を覗る () |

二、次の下線部の平仮名を漢字に直しなさい。(1 × 10 = 10)

1. 正義をつらぬいた生き方 ()
2. 頭をひやす ()
3. かきねを潜る ()
4. みもとを調べる ()
5. 勉強にあきる ()
6. いどを掘る ()
7. こころがまえができる ()
8. てすうをかける ()
9. いいかげんにする ()
10. すなおな気持ち ()

所有答案均写在考点下发的答题纸上，写在本试卷上无效。

十四、次の作者の代表作の題名を一つずつ書きなさい。(3点)

- 1、太宰治_____
- 2、大岡昇平_____
- 3、野間宏_____

十五、次のA群に関係するものを、B・C群から選んでその番号を解答欄に記入しなさい。(10点)(解信用紙で記入欄を作ってください)

- | | | | |
|----|--------|--------|--------|
| A群 | ①自然主義 | ②反自然主義 | ③浪漫主義 |
| | ④擬古典主義 | ⑤写実主義 | |
| B群 | ①金色夜叉 | ②不如帰 | ③破戒 |
| | ④浮雲 | ⑤高瀬舟 | |
| C群 | ①尾崎紅葉 | ②島崎藤村 | ③二葉亭四迷 |
| | ④森鷗外 | ⑤徳富蘆花 | |

十六、大学院に入って研究してみたいことについて(具体的に例をあげて)、200~250字の文章を書きなさい。(15点)

十七、次の作文のテーマで、400~500字の文章を書きなさい。(25点)

懐かしい思い出

所有答案均写在考点下发的答题纸上，写在本试卷上无效。

三. 次の外来語を中国語に訳しなさい。(1×5=5)

1. カタログ ()
2. フロント ()
3. レジャー ()
4. スマート ()
5. リニアモーターカー ()

四. 次の語句を簡潔に説明しなさい。(2×5=10)

1. 愚痴をこぼす
2. ごまをする
3. 耳が痛い
4. 気が気でない
5. 念を押す

五. 次の文の () にA・B・C・Dの中から適当なものを1つ入れなさい。(1×5=5)

1. 遠方から懐かしい客がきたので、わたしの手料理で ()。
A. もてはやした B. もてあました
C. もてなした D. もてあそんだ
2. 今朝朝寝坊して、いつも乗るバスに乗り ()。
A. そこなった B. うつつた

所有答案均写在考点下发的答题纸上，写在本试卷上无效。

七、つぎの（ ）の中に仮名一字ずつ助詞を書き入れなさい。(5点)

1. 彼は信頼する（ ）足りない人物である。
2. あなた（ ）（ ）ほかに頼れる人がいないから、忙しいのを承知でお願いしているのです。
3. 立ちあがる（ ）（ ）目眩がして倒れそうになった。
4. 彼の死を悼んで、人々は泣き（ ）ないた。
5. 暦の上では春と言え（ ）、この土地の人々はまだ真冬の寒さに震えている。

八、次の各文を中国語に訳しなさい。(10点)

1. 自分のうちに帰ったつもりで、ゆっくりお休みなさい。
2. 彼は現職の教師だけに受験について詳しい。
3. すぐ行くといっているから、待っているでしょう。
4. うそをつこうものなら、二度と口をきかないぞ。
5. うちの夫は出世したところで課長どまりでしょう。

所有答案均写在考点下发的答题卡上，写在本试卷上无效。

九、次の各文の（ ）の中に敬語表現として適当なものを選んで、記入欄の中に記入しなさい。(5点)(解答用紙で記入欄を作ってください)

1、すみません。ご伝言（ ）でしょうか。

(a、していただけます b、いたしません c、願えません)

2、ご来店のお客様にご案内（ ）。

(a、なさいます b、願います c、いただきます d、申し上げます)

3、午後三時ごろに先生の研究室に（ ）。

(a、お越ししてもかまわないでしょうか b、何ってもよろしいでしょうか c、お越しになってもよろしいでしょうか)

4、弊社の社長もよろしくと（ ）。 (a、おっしゃっております b、申しております c、いっておられます)

5、あいにく、部長は只今席をはずしておりますが、お客様のご用件を（ ）でしょうか。 (a、お伺いできません b、お伺いいただけません c、お伺いくださらない)

十、次の各段落の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(15点)

少年はブランコから飛び降りると、一瞬①強い視線を私に向けた。その時はじめて少年の目の縁が濡れていることに気がついた。

そうだったのか。少年はブランコを漕ぎながら泣いていたのか。

校庭の片隅にも夕闇が迫った路地裏にも泣く場所はなく、ようやく見つけたところが空高く舞い上がったブランコの上だったのか……。

ここなら誰にも見つけることはあるまいと一心に漕いでいるところに心ない侵入者がやってきて、すぐ近くのベンチに座って自分のことを観

所有答案均写在考点下发的答题纸上，写在本试卷上无效。

察しはじめた……。少年にはそう思えたのかもしれない。

②悪いことをしてしまったと思ったが、すでに少年の姿はなく、ブランコだけが微かに揺れ続けている。

③あれは、私が少年とちょうど同じくらいの年ごろだった。

学校の帰り道だったか、草むらで見つけた毛糸ほどの茶色の子犬を抱いて帰宅したことがあった。

「一度、あなたが拾ってしまったのだから、責任をもって飼い主を探してあげなさい。」

④とりつく島のない母の言葉に背を押されるように、ソーセージを数本ポケットに入れて私は家を出た。

犬好きの友達の家を一軒一軒当たったが、すべて断られた。「今夜だけ。」と母に泣きついて、その夜、子犬は部屋の隅に置いた箱の中で眠った。

次の日の放課後も近所を回ったが引き取り手はなく、結局、交番に連れていき、飼い主を見つけてもらうことになった。

子犬は五日ほど、「誰かボクを飼ってください」と私が書いた張り紙の下に、赤い腰ひものようなもので繋いでいた。が、五日目の夕方に覗くと、張り紙とともに消えていた。お米屋さんだったかにもらわれていったという。

ほっとすると同時に、なぜかわけもなく悲しくて、声も出さずにヒクヒクと泣きながら、近くの公園でブランコを漕いだものだった。

あの少年も、人前では泣けない何かがあったのだろう。その日以来、青色のセーターを着た男の子のことが⑤気になっていた。

そして今日、買い物の帰りに例の公園の前を通ると少年がいた。数人の同じ年ごろの子供たちと、バドミントンをしている。

友達にも誰にも言わずに、少年は四日前の涙を自分なりに処理したのだろう。

表情で少年が打つ白い羽根が、薄い闇のなかで綺麗な弧を描いた。

所有答案均写在考点下发的答题纸上，写在本试卷上无效。

問一 _____ 線部①「強い視線」を向けられた「私」は、自分が
どういう存在だと少年から思われていると考えたのか。文章か
中から抜き出して答えなさい。(3点)

問二 _____ 線部②「悪いことをしてしまった」とあるが、「悪
いこと」とはどういうことか。三十字以内で説明しなさい。(3
点)

問三 _____ 線部③「あれは、私が」から始まる、「私」が自分
の子どものころを振り返っている部分はどこまでか。終わりの
五字を文章から抜き出して答えなさい。(句読点は字数に含ま
れない)(2点)

問四 _____ 線部④「取りつく島のない」のこの場面での意味と
してもっとも適当なものを次のア～エより選び、記号で答えな
さい。(2点)

- ア 「私」が声をかけることさえ許されないような
- イ 「私」に本心をまったく悟らせないような
- ウ 「私」を優しく気づかい励ましてくれるような
- オ 「私」と共に責任を果たそうとするような

問五 _____ 線部⑤「気になっていた」とは、「私」の少年に対
するどのような気持ちを表しているか。最も適当なものを次の
ア～エより選び、記号で答えなさい。(3点)

- ア 私がじっと見ていたことで、少年を傷つけ泣かせたことに対
する罪悪感。

所有答案均写在考点下发的答题纸上，写在本试卷上无效。

- イ ブランコから飛び降りる際に、私に強い視線を向けた少年に対する共感。
- ウ 幼い頃の私と同様、ブランコを漕ぎながら一人泣いていた少年に対する共感。
- エ ブランコを漕ぎながら泣いていた少年の涙の理由を知りたいという好奇心。

問六 にあてはまる言葉として最も適当なものを次のア～エより選び、記号で答えなさい。(2点)

- ア うっとりとした イ しんみりとした ウ しみじみとした
- エ 晴ればれとした

十一、次の文語文を読んで、後の問いに答えなさい。(10点)

ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結て、久しくとどまりたる例なし。世の中にある人と栖と、またかくの如し。たましきの都のうちに、棟を並べ鬘を争へる、高きいやしき人の住ひは、世々を経て尽きせぬものなれど、これをまことかと尋ぬれば、昔ありし家は稀なり。或は去年焼けて今年作れり。或は大家亡びて小家となる。住む人もこれに同じ。所も変はらず、人も多かれど、いにしえ見し人は、二三十人の中に、わずかにひとりふたりなり。朝に死に、夕に生まるるならひ、ただ水の泡にぞ似たりける。

問1、上の文章の中、傍線を引いた所の仮名遣いは、歴史仮名遣いとして正しくないものが二ヶ所ある。それを例に倣って直しなさい。(2点)

